

令和8年度 南魚沼市立八海中学校 グランドデザイン



《 教育目標 》
自立 共生 創造

《 重点目標 》

- めあてをもち、意欲的に学ぶ生徒
- 思いやり、認め合い、互いに磨き合う生徒
- 自ら鍛え、心身ともに健康な生徒

学校教育の重点（新潟県教育委員会）
○児童生徒が主役の授業をととした確かな学力の育成
個別最適な学びと協働的な学び 学習習慣 学習評価
○いじめをしない、許さない、命を大切にすること意識の醸成
道徳教育 特別活動 人権教育、同和教育

南魚沼市の学校教育における基本方針

- 1 安全・安心で、活気に満ちた学校づくり
- 2 意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
- 3 心身の健康を育む教育環境の充実
- 4 夢、未来、希望を育む教育の推進
- 5 インクルーシブと特別支援教育の充実
- 6 生きる力の基礎を培う幼児教育の充実

生徒の「自己有用感」を高める教育を推進する

	知「確かな学力の向上」	徳「社会性の育成」	体「健康・体力の向上」
目指す生徒像	・学び方を身に付け、自主的に学習を進める生徒 ・目標や目的意識をもって、意欲的に学ぶ生徒 ・自分の考えをもち、進んで表現する生徒	・互いの個性や立場を尊重し、思いやり支え合う生徒 ・礼節をもって人に接し、協働しながら磨き合う生徒 ・ふるさとに愛着をもち、地域に奉仕する生徒	・明るく、心身ともに健康な生徒 ・活動的で、進んで身体を鍛える生徒 ・たくましく、協力し合って困難に打ち勝つ生徒
運営活動 八海中学校で 取り組むこと	□UDLをベースとした授業実践を行い、見通しと振り返りの場を取り入れた授業 □定着を意図した家庭学習課題の提示と指導 □基礎学力の徹底を図り、生徒の達成感の育成 □客観的学力データに基づく授業改善 □家庭学習強化週間の設定	□見通しをもった学校行事や生徒会活動の計画と生徒が主体的に取り組める支援の工夫 □定期的なアンケートと教育相談の実施 □道徳や人権教育、同和教育に関する職員研修の実施 □人間関係づくりを支援するため、SSTなど関わり合う学級活動の充実	□体力テストの結果を踏まえた体育の授業や部活動のトレーニングの実施 □八海健康Weekを実施し、保健便り・学年便り等を通じて保護者との連携を図る。（早寝・早起き・朝ご飯・メディア接触コントロール）
教育活動 生徒が取り組むこと	□本時の目標を意識して授業に臨み、授業の最後に振り返りをする □授業の学び合い活動などで、自分の考えをもって関わり合う。 □学力の定着を意図して、毎日の家庭学習に取り組む	□進んで挨拶を実践する。 □道徳の授業で、よく考え、話し合い、より良く行きようと考えを深める。 □学級活動等を通し、他者との関わり方を学び、生徒会活動や生徒会行事に取り組み自己理解を深める。 □ボランティア活動で地域と関わる	□体力向上を意識して、体育の授業や部活動などに積極的に取り組む。 □自己の発育に関心をもち、生活習慣改善に取り組む。
成果 めざす姿	□「授業内容が理解できた」と実感する生徒が 80% □1週間の目標家庭学習時間の達成が 50% (1年：490分、2年：560分、3年：630分) □各種客観テストの数値が、全学年全教科において 各平均以上 （NRT、全国学テ、確認テスト等）	□「学校が楽しい」と思う生徒が 90% □学校生活のきまりを進んで守る生徒が 90% □いじめは「絶対にやってはいけないこと」と理解し生活している生徒が 100% □WEBQUで「学級に満足」と回答する生徒が 60%以上	□「身体を動かすことが楽しい」と感じる生徒が 80% □体力テストで30/48種目が 県平均以上 □メディア接触1日2時間以内が 50% (44%)
評価 見取りの方法	授業アンケート(7月・12月) 新潟まなびチャレンジ(5・7・10・11・1月) NRT、(全国学力学習状況調査)(4月) 学習の確認テスト 定期テスト 家庭学習時間調査	生活アンケート(いじめ調査) 毎月 学級満足度調査(QU) 年2回 道徳の授業記録の蓄積	体力テスト 八海健康Week 給食残量調査 健康診断結果

○仲間との絆
○学校文化
○地域社会とのつながり・絆



運営活動 八海中学校で取り組むこと
○地域のニーズを把握し、整理し、地域貢献の形を整えます。
○総合的な学習の時間、学校行事、生徒会活動等とおして、学校と地域がつながる活動を進めます。

地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり

成果 めざす姿
□地域活動に自主的に参加した生徒が80%
□地域活動で地域に貢献したと実感する生徒が80%

